|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾃｽﾄｹｰｽNO | テスト内容 | 確認内容 | 確認日 | OK/NG | 備　考 |
| 前提1 | 指定した年月の請求データを、加入者情報と料金情報から作成。加入者情報・料金情報については「バッチアプリ機能実装テスト結果.xlsx」を参照。 | | | | |
| 1-1 | コマンドライン引数が「yyyyMM」の正しい状態でバッチを起動する  ※コマンドライン引数に202202を入力 | 入力された日付のログが表示されること | 5/16 | OK |  |
| 1-2 | 入力された日付に該当する請求ステータス情報の追加件数が表示されていること | 5/16 | OK |  |
| 1-3 | 入力された日付に該当する請求データ情報の追加件数が表示されていること | 5/16 | OK |  |
| 1-4 | 入力された日付に該当する請求明細情報の追加件数が表示されていること | 5/16 | OK |  |
| 2-1 | バッチ実行後、請求データ状況のＤＢに正しくコマンドライン引数の日付データが挿入されているか確認 ※H2-consolenで「SELECT ＊T\_BILLING\_STATUS」を実行 | billing\_ymに入力された日付データが追加されていること | 5/16 | OK |  |
| 2-2 | is\_commitedにfalseが入力されていること | 5/16 | OK |  |
| 3-1 | バッチ実行後、請求データのＤＢに正しくコマンドライン引数の日付データが挿入されているか確認 ※H2-consolenで「SELECT ＊T\_BILLING\_DATA」を実行 | 入力された日付に該当する請求データのレコードがログに表示された件数と同じ件数追加されていること | 5/16 | OK |  |
| 3-2 | DBに入力された日付に該当する請求データが正しく作成されていること | 5/16 | OK |  |
| 3-3 | DBの請求データ.加入者IDにバッチ稼働対象年月の有効な加入者の加入者IDが登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 3-4 | DBの請求データ.メールアドレスにバッチ稼働対象年月の有効な加入者のメールアドレスが登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 3-5 | DBの請求データ.氏名にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の氏名が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 3-6 | DBの請求データ.住所にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の住所が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 3-7 | DBの請求データ.加入日にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の加入日が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 3-8 | DBの請求データ.解約日にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の解約日が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 3-9 | DBの請求データ.決済方法にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の決済方法が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 3-10 | DBの請求データ.請求金額にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の月額金額の合計が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 3-11 | DBの請求データ.消費税率に0.1が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 3-12 | DBの請求データ.請求総額に請求金額×(1+消費税率)が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 4-1 | バッチ実行後、請求明細データのＤＢに正しくコマンドライン引数の日付データが挿入されているか確認 ※H2-consolenで 「SELECＴ＊T\_BILLING\_DETAIL\_DATA」を実行 | 入力された日付に該当する請求詳細データのレコードがログに表示された件数と同じ件数追加されていること | 5/16 | OK |  |
| 4-2 | DBに入力された日付に該当する請求詳細データが正しく作成されていること | 5/16 | OK |  |
| 4-3 | DBの請求明細データ.加入者IDにバッチ稼働対象年月の有効な加入者の加入者IDが登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 4-4 | DBの請求明細データ.料金IDにバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の料金IDが登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 4-5 | DBの請求明細データ.料金名にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の料金名が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 4-6 | DBの請求明細データ.月額料金にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の料金名が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 4-7 | DBの請求明細データ.適用開始日にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の適用開始日が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 4-8 | DBの請求明細データ.適用終了日にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の適用終了日が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 5-1 | コマンドライン引数が「yyyyMM」の正しい状態でバッチを起動する  ※コマンドライン引数に202312を入力 | 入力された日付のログが表示されること | 5/16 | OK |  |
| 5-2 | 入力された日付に該当する請求ステータス情報の追加件数が表示されていること | 5/16 | OK |  |
| 5-3 | 入力された日付に該当する請求データ情報の追加件数が表示されていること | 5/16 | OK |  |
| 5-4 | 入力された日付に該当する請求明細情報の追加件数が表示されていること | 5/16 | OK |  |
| 6-1 | バッチ実行後、請求データ状況のＤＢに正しくコマンドライン引数の日付データが挿入されているか確認 ※H2-consolenで「SELECT ＊T\_BILLING\_STATUS」を実行 | billing\_ymに入力された日付データが追加されていること | 5/16 | OK |  |
| 6-2 | is\_commitedにfalseが入力されていること | 5/16 | OK |  |
| 7-1 | バッチ実行後、請求データのＤＢに正しくコマンドライン引数の日付データが挿入されているか確認 ※H2-consolenで「SELECT ＊T\_BILLING\_DATA」を実行 | 入力された日付に該当する請求データのレコードがログに表示された件数と同じ件数追加されていること | 5/16 | OK |  |
| 7-2 | DBに入力された日付に該当する請求データが正しく作成されていること | 5/16 | OK |  |
| 7-3 | DBの請求データ.加入者IDにバッチ稼働対象年月の有効な加入者の加入者IDが登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 7-4 | DBの請求データ.メールアドレスにバッチ稼働対象年月の有効な加入者のメールアドレスが登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 7-5 | DBの請求データ.氏名にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の氏名が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 7-6 | DBの請求データ.住所にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の住所が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 7-7 | DBの請求データ.加入日にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の加入日が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 7-8 | DBの請求データ.解約日にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の解約日が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 7-9 | DBの請求データ.決済方法にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の決済方法が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 7-10 | DBの請求データ.請求金額にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の月額金額の合計が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 7-11 | DBの請求データ.消費税率に0.1が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 7-12 | DBの請求データ.請求総額に請求金額×(1+消費税率)が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 8-1 | バッチ実行後、請求明細データのＤＢに正しくコマンドライン引数の日付データが挿入されているか確認 ※H2-consolenで 「SELECT＊T\_BILLING\_DETAIL\_DATA」を実行 | 入力された日付に該当する請求詳細データのレコードがログに表示された件数と同じ件数追加されていること | 5/16 | OK |  |
| 8-2 | DBに入力された日付に該当する請求詳細データが正しく作成されていること | 5/16 | OK |  |
| 8-3 | DBの請求明細データ.加入者IDにバッチ稼働対象年月の有効な加入者の加入者IDが登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 8-4 | DBの請求明細データ.料金IDにバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の料金IDが登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 8-5 | DBの請求明細データ.料金名にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の料金名が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 8-6 | DBの請求明細データ.月額料金にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の料金名が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 8-7 | DBの請求明細データ.適用開始日にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の適用開始日が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 8-8 | DBの請求明細データ.適用終了日にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の適用終了日が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 9-1 | コマンドライン引数が「yyyyMM」の正しい状態でバッチを起動する  ※コマンドライン引数に202408を入力 | 入力された日付のログが表示されること | 5/16 | OK |  |
| 9-2 | 入力された日付に該当する請求ステータス情報の追加件数が表示されていること | 5/16 | OK |  |
| 9-3 | 入力された日付に該当する請求データ情報の追加件数が表示されていること | 5/16 | OK |  |
| 9-4 | 入力された日付に該当する請求明細情報の追加件数が表示されていること | 5/16 | OK |  |
| 10-1 | バッチ実行後、請求データ状況のＤＢに正しくコマンドライン引数の日付データが挿入されているか確認 ※H2-consolenで「SELECT ＊T\_BILLING\_STATUS」を実行 | billing\_ymに入力された日付データが追加されていること | 5/16 | OK |  |
| 10-2 | is\_commitedにfalseが入力されていること | 5/16 | OK |  |
| 11-1 | バッチ実行後、請求データのＤＢに正しくコマンドライン引数の日付データが挿入されているか確認 ※H2-consolenで「SELECT ＊T\_BILLING\_DATA」を実行 | 入力された日付に該当する請求データのレコードがログに表示された件数と同じ件数追加されていること | 5/16 | OK |  |
| 11-2 | DBに入力された日付に該当する請求データが正しく作成されていること | 5/16 | OK |  |
| 11-3 | DBの請求データ.加入者IDにバッチ稼働対象年月の有効な加入者の加入者IDが登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 11-4 | DBの請求データ.メールアドレスにバッチ稼働対象年月の有効な加入者のメールアドレスが登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 11-5 | DBの請求データ.氏名にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の氏名が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 11-6 | DBの請求データ.住所にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の住所が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 11-7 | DBの請求データ.加入日にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の加入日が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 11-8 | DBの請求データ.解約日にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の解約日が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 11-9 | DBの請求データ.決済方法にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の決済方法が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 11-10 | DBの請求データ.請求金額にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の月額金額の合計が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 11-11 | DBの請求データ.消費税率に0.1が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 11-12 | DBの請求データ.請求総額に請求金額×(1+消費税率)が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 12-1 | バッチ実行後、請求明細データのＤＢに正しくコマンドライン引数の日付データが挿入されているか確認 ※H2-consolenで 「SELECT＊T\_BILLING\_DETAIL\_DATA」を実行 | 入力された日付に該当する請求詳細データのレコードがログに表示された件数と同じ件数追加されていること | 5/16 | OK |  |
| 12-2 | DBに入力された日付に該当する請求詳細データが正しく作成されていること | 5/16 | OK |  |
| 12-3 | DBの請求明細データ.加入者IDにバッチ稼働対象年月の有効な加入者の加入者IDが登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 12-4 | DBの請求明細データ.料金IDにバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の料金IDが登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 12-5 | DBの請求明細データ.料金名にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の料金名が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 12-6 | DBの請求明細データ.月額料金にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の料金名が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 12-7 | DBの請求明細データ.適用開始日にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の適用開始日が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 12-8 | DBの請求明細データ.適用終了日にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の適用終了日が登録されていること | 5/16 | OK |  |
| 13 | コマンドライン引数が「yyyy」、「MM」など２つ以上の値で入力した場合でのバッチ実行 | エラーメッセージが表示され、プログラムが終了されること | 5/16 | OK |  |
| 14 | コマンドライン引数に「yyyyM」や「yyyyMMdd」など６文字以外の入力した場合でのバッチ実行 | エラーメッセージが表示され、プログラムが終了されること | 5/16 | OK |  |
| 15 | コマンドライン引数に「aaaaaa」など数値以外の文字の入力した場合でのバッチの実行 | エラーメッセージが表示され、プログラムが終了されること | 5/16 | OK |  |
| 16 | コマンドライン引数の入力が「200013」や「999999」など１月から12月の範囲でなかった場合でのバッチ実行 | エラーメッセージが表示され、プログラムが終了されること | 5/16 | OK |  |
| 17 | コマンドライン引数に加入者情報が有効でない日付の入力した場合でのバッチ実行 | 請求データ情報を追加する際に０件だった場合、エラーメッセージが表示され、プログラムが終了されること | 5/16 | OK |  |
| 18 | コマンドライン引数に料金情報が有効でない日付の入力した場合でのバッチ実行 | 請求データ情報を追加する際に０件だった場合、エラーメッセージが表示され、プログラムが終了されること | 5/16 | OK |  |